

「家で勉強する」と  
教科書を持って帰るようになったよ

群馬県

太田市立沢野小学校

長谷川雅美

## 対象児：Tくんの情報



①学年 小学校2年生（8歳）

②障害名

ダウン症

知的障がい（療育手帳あり）

構音障がい

右耳難聴

両眼遠視乱視

最初と最後の音がよく言える  
滑舌が悪い

2mほど離れても聞こえる

B（0.7程度）

○入学時から知的障害児学級に在籍

③Tくんとの関係

○4月から、知的障害児学級の担任。

1年時の、Tくん。

5年生の担任だった  
私は  
傍観者でした



いつも先生と手をつないでいるなあ。

にこにこしているなあ。

白米しか食べないの？  
パンの日はご飯を持って  
きているんだって。

ダウン症って？

よく机の下に  
もぐるんだって。

何を言っているのかな？  
おはよう？  
ございます？



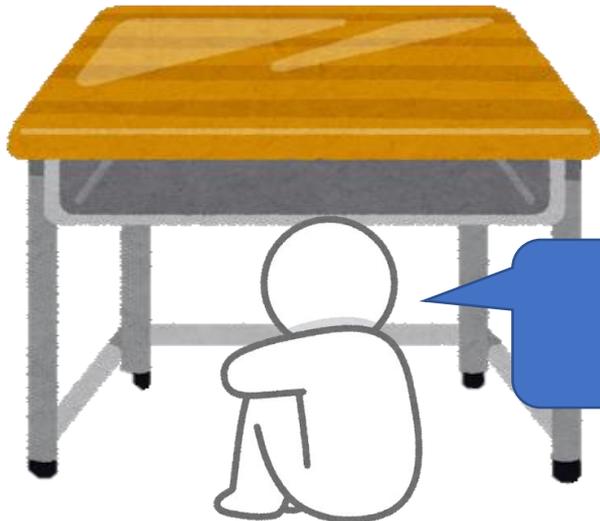
読み書きはできないの？

# 机の下にいたTくん

だだを  
こねている  
のかな？

いやなことが  
あったのかな？

やりたくな  
いのかな？



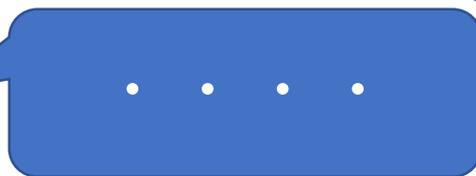
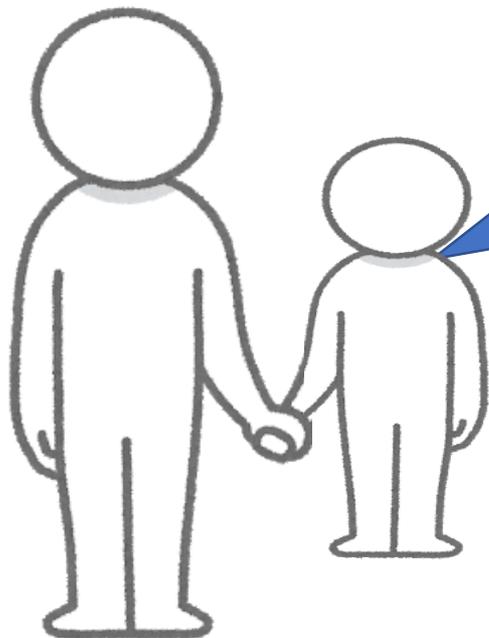
1時間でも  
2時間でも  
時には半日も

# いつも手をひかれていたTくん

にこにこして  
いるから。  
楽しいのかな？

自分からは動け  
ないのかな？

手をつない  
でいないと  
危ないのか  
な？



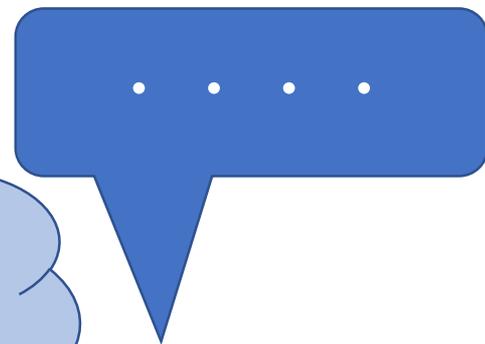
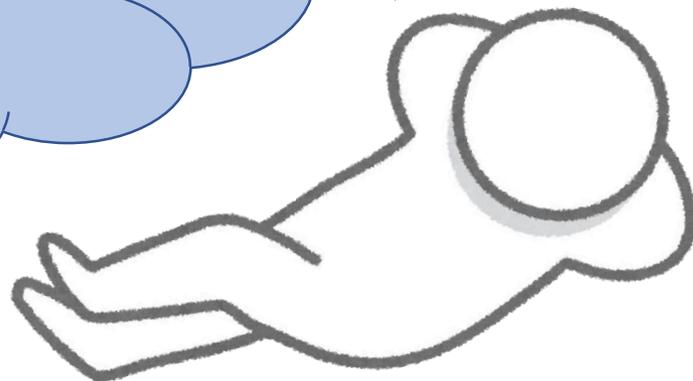
# 床に寝転がっているTくん

ごろごろしている  
なあ！かわいいけ  
ど？



いやなことが  
あったの？

眠たいのか  
な？お昼寝？



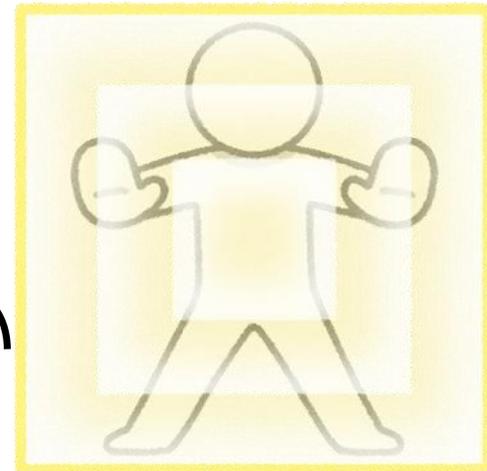
2年時の、Tくん。

担任になった私には、  
わからないことばかり！





## 「彼」が見えない



- 「したいこと」がわからない
- どんな気持ちでいるのかがわからない
- 何ができるかわからない
- 伝わっているのかもわからない

彼からの発信も見えない  
こちらの言ってることが伝わっているかも  
見えない



毎日、Tくんを

私は

見ているしかなかった

# 少しわかったこと

## ①読む

○ひらがな

一文字一文字指でさすと（不明瞭な発音） ○

○文章やっとならび読み程度。 ○

○かたかな ✕

○朝読書の時間では、  
仕掛け本「いただきます」

「いただきます」を  
いつも見ているよ  
好きなのかな



## ②書く

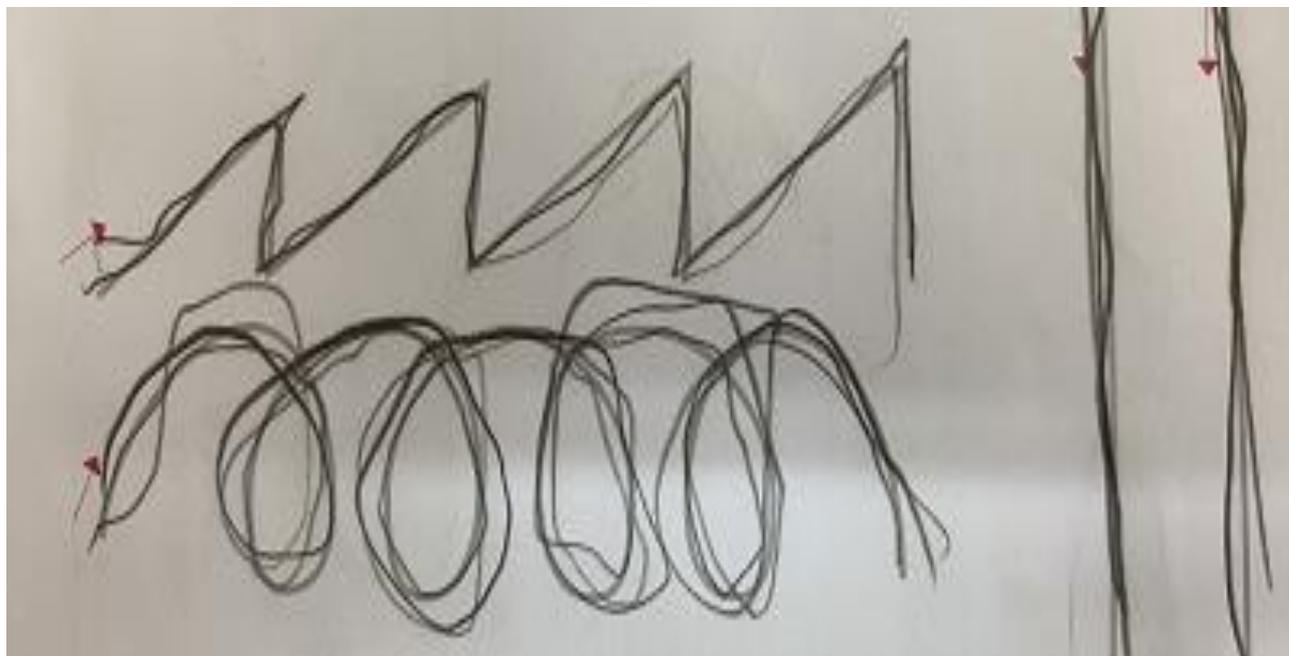
○筆圧がない

文字をなぞる ×

マジックで書く ○

鉛筆で書く ×

ノートを書く ×





### ③話す

○発音が不明瞭

○毎朝、「おあよう◎◎あす」と言いながら、  
教室に入ってくる。

○オーム返し。

○発語は単語

「おはよう○○あす」  
「できました」



「おはようございます」  
「できました」「でた」  
「ごめんなさい」  
「せんせい」  
「おかわり」



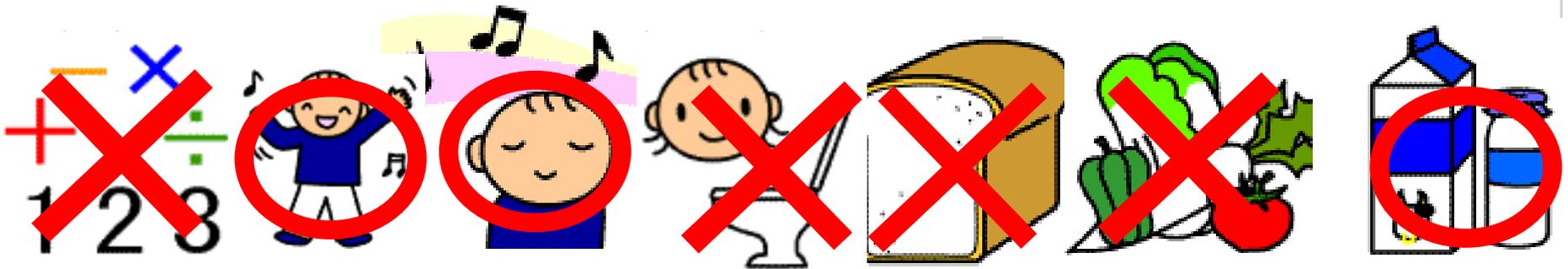
# ④計算、行動では

読む・書く	4月
ひらがなを読む	○
かたかなを読む	×
ひらがな（静音）を書く	○
ひらがなを書く （濁音・長音・拗音・促音）	×
かたかなを書く	×
漢字を書く	×

計算する	4月
数の大小	○
数唱	○
足し算（繰り上がりなし）	×
足し算（繰り上がりあり）	×
引き算（繰り下がりなし）	×
引き算（繰り下がりなし）	×
図形	△

話す・聞く	4月
発音	△
単語のオーム返し	○
やりとり	×
単語のみ聞く	△

行動	4月
いすに10分間	○
2つの指示	△
模倣	○
食事・排せつの自立	×

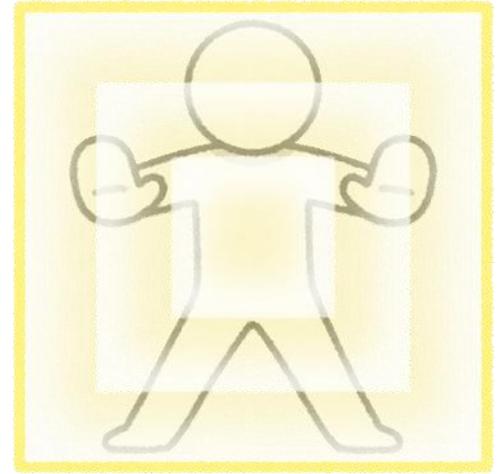


Tくんの思いって  
どうなの





## 「彼」の思いは？



- 「理由」があつての行動であつたのにそれが伝えられなかったのでは？
- 「伝わった」安心感を持っていていなかったのでは？

方法もモチベーションも持ってていなかった



彼を知りたい

彼に知ってほしい

彼の気持ちが  
知りたい

要求してほし  
い

一緒に考えたい



人と関わる  
心地よさ

自分で決めら  
れる喜び

思いが伝わる  
安心

学びながら関わりながら世界を広げてほしい



# そのために着けたい力は？

毎日同じ本を手にとっていた  
→「これならわかる」と思っていた  
のかも

文字を書こうと  
する姿がある  
プリントをもら  
うとすぐに名前  
を書いていた  
→「これなら書  
ける」という自  
信があったので  
は



関わらないが、友達のそばには行きたがる  
友達が名前を呼んでくれると、返事はし  
ないもののこにこと嬉しそうだった  
→関わりたいのに手立てを持ってずにいた  
のでは？

やりとりの選択肢を増やしたい  
文字の習得ができれば、やり取  
りが手立てになるのではないか

発信や受信への意欲を持  
たせたい  
情報を共有する手立てを  
持ち、体験を重ねること  
で「伝え合う」喜びを意  
欲につなげることができ  
るのではないか

でも  
悩み多きスタート



# 悩み多きスタートの原因は

- にこにここと笑顔だが、授業に取り組もうとしない
- なかなか机に向かおうとしない
- つきっきりで声をかけるとやり始めるが継続しない

例：ひらがなも2文字書いてやめてしまう

- わかっているはずのことでも、声をかけても動こうとしない





昨年度みたいに

「手をひっぱっていく」しかないのかな？  
どうしたらいいんだろう・・・



# 彼の姿から、考えた！

○上級生の姿をお手本に、

1人でトイレに行けた姿を見て、**考えた！**

→この子はできることがもっとあるのでは？

→見て確認することが、手立てになるのでは？

→**見て、確認できれば○**

これを生かせるものを用意してみよう！



# タブレットを使ってみよう



指で書けること、始点や終点  
がわかる。繰り返して学  
習できる



毎日の生活で使う言葉のイ  
メージと文字が結び付きや  
すい



自分の読みたいもの、  
見たいものを選ぶこ  
とができる

自分のペースで音を  
確認できる。真似も  
しやすい



点数がわかり、  
やる気が出る



# 彼の姿から、考えた！

○えんぴつが持ちにくそうだったので、タブレットで指で書くアプリで学習することを提案したら、時間いっぱい集中して取り組み、時間がきてもやめようとしないう姿を見て、**考えた！**

→ああ、本当はもっと書きたかったんだ

→**学びやすい環境を整えて**からスタートしてみよう！



# 机と椅子を工夫してみよう

お腹がすっ  
ぽりはまる  
ように、  
カッティン  
グテーブル  
にした。



机の上にい  
らないもの  
をいれてお  
く箱を用意  
した

体が  
ずり落ち  
ないように、  
背中  
にもクッ  
ションを  
付けた！

お尻がすべらないように、  
低反発クッションを座面  
のサイズに切った！

足の裏がしっかり  
ペタンとつくよう  
に、すべらない踏  
み板をおいた！

# 彼の変化

1学期、アプリを使って、ひらがなとかたかなを指で書ききることができた。2学期になり、ノートも併用して学習を進め、鉛筆を使って書けるようになった。

10月の下旬には、「ひらがなシューター」に挑戦し、出てくる文字を下の文字から探せるようになった。連絡帳も自分で書き、筆圧もしっかりしてきた。



「あれ、やる」  
「れんらくちょう、  
かけました」



# 1年生のときの連絡帳

3月になって、  
自分でかいたもの

残念！ 読めない。





# 彼の変化

11月から数字の練習を行っている。まずは、漢数字から始めた。タブレットで学習した後、ノートで復習をした。間違うと、タブレットの画面で確認するようになった。



「かんじ、かんじ」  
「よん、ご」



# 彼の変化

1学期はデイジー教科書をまねしていた。2学期になると、教材文にあるかたかな、漢数字も読めるようになってきた。読めるようになって、教科書をランドセルに入れて帰るようになった。家でも家族に教科書を読んで聞かせている。

読めるようになった教材

9月・・・「だれがたべたのでしょうか」  
「おおきなかぶ」

10月・・・「けんかした山」など

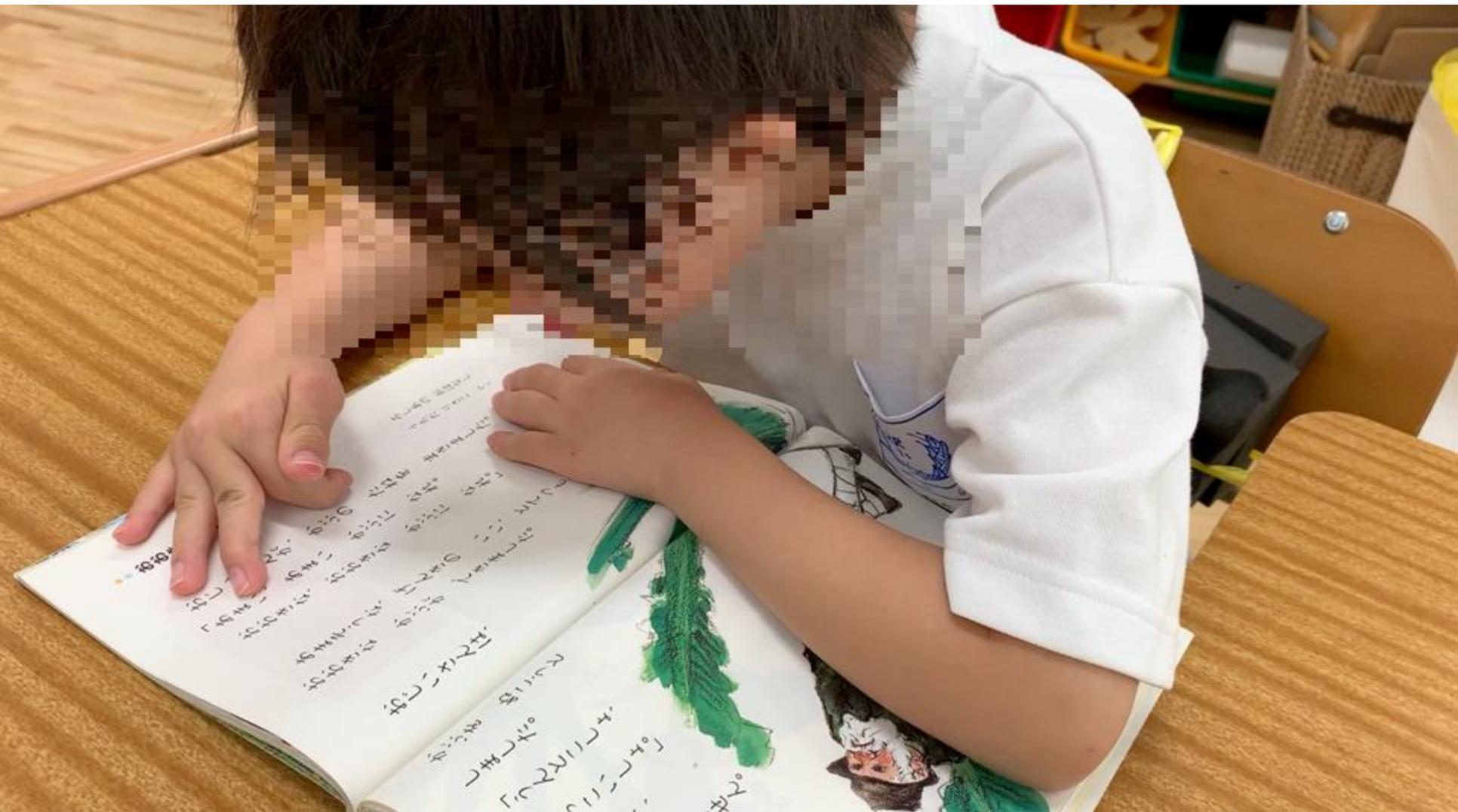
11月・・・「家の中には」など



「おうちに持って  
かえる」



# おおきなかぶ



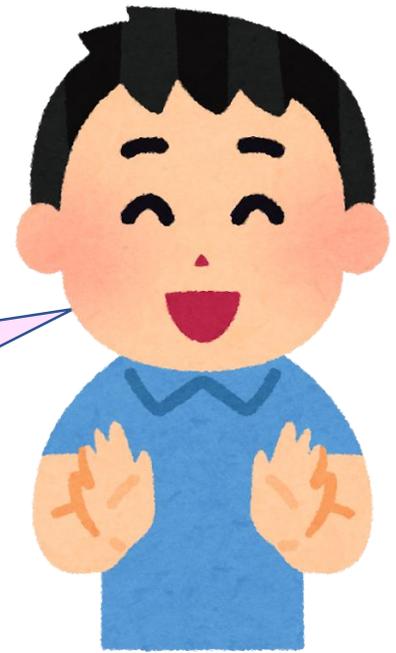
# 彼の変化

4月当初は単語の発語であった。2学期になると給食中は、会話も増え、会話をしながら楽しく食べている。さまざまな食材を食べるようになってきた。

算数の時間では、時刻について問題を出しながら、学習をしていた。



「おいしいねえ」  
「にくだけたべる」  
「なんじでしょうか、  
たむらせんせい」



# 算数の時間でも



# 彼の変化

運動会を過ぎると、同じクラスの友達と、休み時間に遊ぶようになった。聞かれることに対して、返事をするようになった。

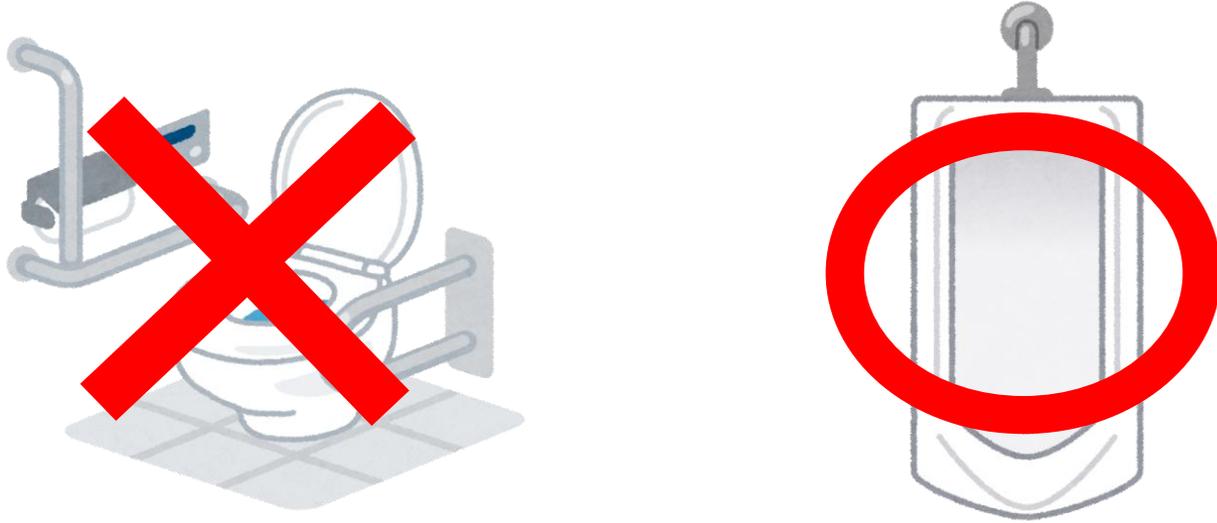
また、熊のきせがえをするおもちゃでは、おままごとのように遊ぶようになった。



「うん、あそぶ」  
「どこ」  
「これで、やる？」  
「ママ、はい」



# トイレのその後は？



おむつパットをせずに学校で過ごすようになった。

おしっこは、

休み時間ごとに声をかけたり、

上級生が誘ったりすると、自分で行く。

# 今の彼は

## 読むこと 大好き

- ・ デイジーがなくても自分で読めるよ
- ・ おうちの人にも読んであげるよ
- ・ みんながほめてくれて嬉しいよ

## 読んでわかるが 増えたよ

- ・ 連絡帳の内容がわかるよ
- ・ 先生の短い指示を読んで理解できるよ
- ・ 当番表や手順表を確認できるよ

## 書くこと 大好き

- ・ 見て書くことが上手になったよ
- ・ 単語は思い出して書けるよ
- ・ 書いたものを見せて伝えようとしているよ

## 通常級の友達 大好き

- ・ 声をかけられると返事ができるようになったよ
- ・ 一緒にボールやブランコや滑り台で遊ぶよ

## 支援級の友達 大好き

- ・ ままごと遊びをしたり、自分から遊びを提案したりすることもあるよ

## 話すの大好き

- ・ 言いたいことがいっぱいあるよ
- ・ 2語文で話せるようになったよ



読む・書く	4月	12月
ひらがなを読む	○	○
かたかなを読む	×	○
ひらがな（静音）を書く	○	○
ひらがなを書く （濁音・長音・拗音・促音）	×	○
かたかなを書く	×	○
漢字を書く	×	△

計算する	4月	12月
数の大小	○	○
数唱	○	○
足し算（繰り上がりなし）	×	○
足し算（繰り上がりあり）	×	○
引き算（繰り下がりなし）	×	○
引き算（繰り下がりなし）	×	○
図形	△	△

話す・聞く	4月	12月
発音	△	△
単語のオーム返し	○	○
やりとり	×	△
単語のみ聞く	△	△

行動	4月	12月
いすに10分間	○	○
2つの指示	△	○
模倣	○	○
食事・排せつの自立	×	○
友達と遊ぶ	×	○

通知票の  
「家庭から」には

家庭から

お話しになっております。1学期は、学習にも頑張ってく  
取り組めたようで、うれしく思っております。2学期も、  
元気に楽しく過ごし、学習面、生活面でも少しずつ出来る  
事が増えてくるとよいと思っております。今後とも、ご指導の程、  
よろしくお願い致します。

2学期も大変お話しになりました。

足し算、引き算を楽しく取り組む姿や、本を読んで  
いる姿に成長を感じ、うれしく思っております。

冬休中は、できるだけ絵本を読むようにしました。

これからも続けたいと思っております。

今後とも、ご指導の程、よろしくお願い致します。

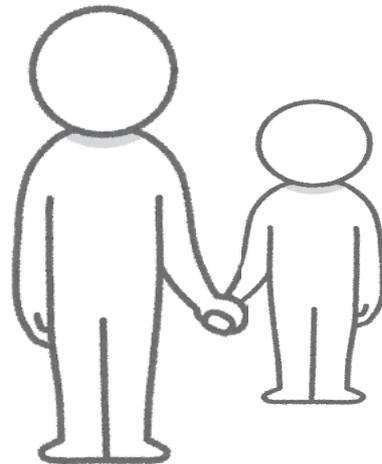
今の姿から、

かつての彼を振り返ると



本当はたくさん伝えたいことがあったのに・・・

いっぱい勉強もしたかったのに・・・  
手を引いてもらわなくても自分でできることがたくさんあったのに・・・  
もっと早く気づいてあげられたら、机の下にいらなくてもよかったかもしれない・・・



これから

どうしていいかわか？



# ICTの活用



○生活経験や語彙が少ないため、  
文の内容理解は依然として困難が大きい。

→挿絵やイラスト、動画などを使って、  
経験不足や理解を補っていけるように  
支援

→経験と言葉をつなげられるように記録を  
残したり、それを確認したりする支援

→1つずつ確実に定着を図る

# ICTの活用



○物や表情などによってのやりとりが多いため、課題がある。

→文字を使った、テーマをもったやりとりのから支援

→写真や動画などで共通のイメージを与えることで、やりとりを補う。

# ICTの活用



- 五十音キーボード入力などを使ったやりとりの方法を模索
- バイトークなどを使ったやりとりの経験を増やす工夫

「家で勉強する」と  
教科書を持って帰るようになった



本が読めるっ  
て楽しいね

褒められちゃった。  
また、やるよ!

できちゃったよ。  
やるじゃん! ぼく。

今の学習で得た意欲、自信が、  
これからの人生の豊かさ  
につながってほしい



ありがとうございました。